

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3 年4月1日

事業所名 キッズハウス 福寿草

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	0	4	・子ども達の様子に応じて、積極的に屋外での活動を取り入れていっている。	・基準上は問題無し。 ・もっと広くあってほしい。 ・他事業所と合同で活動を行う際のスペースの考え方、確保の仕方の確認をしていく。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	1	・職員は基本3名。 ・多い時は4名で支援できるようにしている。 ・他事業所と合同で活動を行う事で職員数の確保をされている。	・国の提示する配置基準の「2名」と「職員2名では児童10名を支援できない」との「現状とのギャップ」について更に改善できるように考察していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	0	・以前、車いすのお子さんがいた時には高すぎる段差を埋めるすのこ等を作成し対応した。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	・職務会議等に職員、出席し、意見を出し合い、業務改善に参画している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	1	・管理者が集積し、次年度の業務改善に繋げられるようにしてきた。	・令和3年度より職員全体で自己・保護者評価については確認していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	1	・ホームページ公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	0	4		・令和3年度、検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	3	・委員会を設置し「虐待」「支援環境」「療育・支援」「防災」について職員間で定期的に話し合いを持っている。 ・1回/月の事業所内研修を実施している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0	・計画作成時、モニタリング時に適宜にアセスメントを行ってきた。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	0	4	・計画作成時、モニタリング時に適宜にアセスメントを行ってきた。	・令和3年度に標準化された独自のアセスメントツールの作成をする。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	1	・日々のミーティングの中からチームの意見等を聞き取り、立案に繋げている。	・職員に「立案(仮)」をしてもらいたき台にする事を検討していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	・毎日活動プログラムの目標、手立て、評価を行い、固定化を避けている。 ・必要に応じて「固定」し定点観測を図っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	4	0	・日々のミーティングを通して「今、観察すべき点、対応すべき事案」等を課題として共有し、次の支援につなげている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	・目標に合わせ、集団、個別を組み合わせ、日々の活動プログラムを構成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0	・支援の内容、役割等を設定遊びの計画書で記し共有を目指している。	・行えていない日をどうやって行えるようにしていくか？考察していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	0		・行えていない日をどうやって行えるようにしていくか？考察していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	・複写式の連絡ノートを使用し、控えの裏に記録している。(保護者に渡している連絡ノートと連携する事ができ、事実に沿った記録が残しやすくしている)	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0	0		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	2	・相談員に相談し、学校との話し合いの場をなるべく持つてもらえるようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	1	5		・現在、医療的ケアが必要な子の受け入れが無いが、状況に応じて連携体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	2		・実績としてはある。 ・今年度は無いが、児童の状況に応じて就学前の機関と連携していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	2		・実績としてはある。 ・今年度は無いが、児童の状況に応じて就学前の機関と連携していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	2	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	6	・管理者が地域の学童クラブ等に積極的に顔を出して言っている。	・今年度はコロナでできなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	2	4	・役場に連絡し「開催はいつか？」の確認をさせていただいている。	・地域の自立支援協議会に子ども部門無し。 ・その他会議等もなし。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	0	・連絡ノートを通して行っている。 ・会議で共有するよう努めている。 ・LINE、メール等も活用している。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	4	2	・職員の一部がティートレを受けている。	・ペアトレ等を保護者に支援するには課題が多くあるが、ペアプロ、ティートレ等を職員が学べる機会から検討していく。	
70	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0	・連絡ノートを通して行っている。 ・会議で共有するよう努めている。 ・LINE、メール等も活用している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	6		・令和3年度に保護者同士の連携を支援できる形を模索していく。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	1	4		
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートを通して行っている。 ・会議で共有するよう努めている。 ・LINE、メール等も活用している。 	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	6		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に「地域に開かれた形」を模索していく。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	1	・委員会を設置し、1回/月、考える機会を設けている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	・委員会を設置し、1回/月、考える機会を設けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	1	5		・児童の状況に応じ、対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0		